

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】令和3年2月12日(2021.2.12)

【公開番号】特開2020-55501(P2020-55501A)

【公開日】令和2年4月9日(2020.4.9)

【年通号数】公開・登録公報2020-014

【出願番号】特願2018-189328(P2018-189328)

【国際特許分類】

B 6 0 H 1/34 (2006.01)

B 6 0 H 1/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 H 1/34 6 7 1 A

B 6 0 H 1/00 1 0 1 Q

B 6 0 H 1/00 1 0 1 U

【手続補正書】

【提出日】令和2年12月23日(2020.12.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

自動車用空調制御システムであって、

車室内に配置されたシート(10)と、

車室内空気よりも低温の空調風を生成する空調装置(30)と、

インストルメントパネル(3)に設けられ、前記空調風を車室内に吹き出す吹出口(40)と、

前記シートが有するシートバック(12)の状態を検出する検出部(20)と、

前記検出部の検出結果に基づいて、前記吹出口から吹き出される前記空調風の温度を制御する制御装置(70)とを備え、

前記制御装置は、前記シートバックの状態が起立状態から後倒状態に切り替わったことに基づいて、前記吹出口から吹き出される前記空調風の温度を低下させ、前記吹出口から吹き出される前記空調風の温度を低下させるときに、前記吹出口から吹き出される前記空調風の風量を増大させる、自動車用空調制御システム。

【請求項2】

自動車の空調に用いられる制御装置であって、

前記自動車は、

車室内に配置されたシート(10)と、

車室内空気よりも低温の空調風を生成する空調装置(30)と、

インストルメントパネル(3)に設けられ、前記空調風を車室内に吹き出す吹出口(40)と、

前記シートが有するシートバックの状態を検出する検出部(20)と、を備え、

前記制御装置は、前記シートバックの状態が起立状態から後倒状態に切り替わったことに基づいて、前記吹出口から吹き出される前記空調風の温度を低下させ、前記吹出口から吹き出される前記空調風の温度を低下させるときに、前記吹出口から吹き出される前記空調風の風量を増大させる、制御装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項1に記載の発明では、

自動車用空調制御システムは、

車室内に配置されたシート(10)と、

車室内空気よりも低温の空調風を生成する空調装置(30)と、

インストルメントパネル(3)に設けられ、空調風を車室内に吹き出す吹出口(40)と、

シートが有するシートバック(12)の状態を検出する検出部(20)と、

検出部の検出結果に基づいて、駆動部を制御する制御装置(70)とを備え、

制御装置は、シートバックの状態が起立状態から後倒状態に切り替わったことに基づいて、吹出口から吹き出される空調風の温度を低下させ、吹出口から吹き出される空調風の温度を低下させるときに、吹出口から吹き出される空調風の風量を増大させる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項2に記載の発明では、制御装置は、自動車の空調に用いられる。この自動車は、車室内に配置されたシート(10)と、車室内空気よりも低温の空調風を生成する空調装置(30)と、インストルメントパネル(3)に設けられ、空調風を車室内に吹き出す吹

出口（40）と、シートが有するシートバックの状態を検出する検出部（20）と、を備える。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

そして、制御装置は、シートバックの状態が起立状態から後倒状態に切り替わったことに基づいて、吹出口から吹き出される空調風の温度を低下させ、吹出口から吹き出される空調風の温度を低下させるときに、吹出口から吹き出される空調風の風量を増大させる。

これによれば、請求項1に記載の発明と同様の効果が得られる。